

宮前図書館 実習報告

2019年11月26日～28日に宮前中学校の生徒が図書館の仕事を体験しました！

体験後、生徒のみなさんに仕事の感想やおすすめの本などをうかがいました。



図書館で取り組んだ仕事の感想 について教えてください！

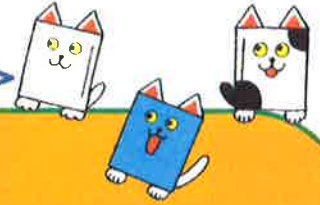
☆小学校、中学校と図書委員をやっていて、仕事内容はあまり変わりませんでしたが、公共の図書館という事もあり、配架する量や絵本の量などが多く、大変でした。特に配架書架整理は根気のいる作業で大変でした。また、おはなし会では、小さい子相手に紙芝居をする時は、聞きとりやすい大きさを言うことを心がけました。小さい子が聞いてくれて良かったです。そして、展示物作成では、細かい作業が多く大変でしたが、3日間を通して、いつも使っている図書館は裏側ではけっこう忙しいんだな、と思いました。

☆1日目は、配架と書架整理を行いました。とても重くてつかれました。

2日目は、おはなし会がとてもやりがいを感じました。事前に練習をして、子供たちに聞かせるのはとても緊張したけど楽しかったです。

3日目は配架も少しなれてきて、雑誌にカバーをかけるのが楽しかったです。クリスマスかざり付けも、工夫してできました。

宮前図書館や杉並の図書館について、どう思いますか？



☆広くて、明るくて、行きやすい図書館。蔵書や雑誌も多く取りそろえているから、来ててあきない。また、絵本、子供向けの本、大人向けの本、と分かりやすく分かれていて、良いと思う。

展示や本の紹介なども見やすいように配置されていて、よく考えられているなと思った。

☆とても広くて、様々な本がある。優しい人がたくさんいる。

おすすめの本を教えてください！



『きみの友だち』 重松 清/著 新潮社

中学生は友達との関係がむずかしい。その感情を本に書いていてとても共感できるから。

『潮風のおくりもの』 パトリシア・マクラクラン 偕成社

海の近くで暮らす家族の温かさを持っている反面、過去の事や、不安など、1人の赤ちゃんを通して「家族」が良くも悪くも変わっていく話だからです。（不良になるとかはありません）1人の赤ちゃんがもたらした家族のありかたが分かる本です。

読み終わった後、きっと家族っていいなと思える本だと思います。（私は思いました。）